

7 児童・生徒指導部会		部会テーマ	チームによる支援を充実させるために	
内 容	いじめ、不登校などの未然防止やそれらの課題への組織的対応のためには、様々な分野の専門家との連携を図り、それぞれの強みを生かした支援をしていくことが大切である。そこで、学校としての連携の在り方や、児童生徒へのよりよい指導・支援について考える機会とする。			
企画・会場係	総合教育センター	澁谷 景子	記 録 係	総合教育センター 田上 岳
機 器 係	総合教育センター	斎藤雄一郎	機 器 係	総合教育センター 揖斐 俊博
受 付 係	総合教育センター	絵面 悦子		

発表

チームによる支援を充実させるために

総合教育センター教育相談部 澁谷 景子

児童生徒の抱える様々な課題に対応するためには、外部の専門家を含めた支援体制を構築し、連携して指導・支援を行うことが求められる。その調整役となる教育相談係の役割について、今年度の調査研究を基に発表する。

実践発表①

チームによる支援の実際

～ケース会議の活用や他機関との連携～

那須塩原市立東那須野中学校 内海 直之

不登校やいじめなど、生徒を取り巻く課題について、組織的に対応しなければならない事例が増えている。ケース会議を通して複数の視点で生徒を捉えたり、他機関と連携したりするなど、チームとしての学校のよさを生かした支援の取組について発表する。

実践発表②

チームによる支援の実際

～ＳＣ及び他機関との連携～

県立宇都宮商業高等学校 荒木 範子

本校では、生徒の抱える課題について様々な角度から実態把握や支援策の検討を行い、他機関とも連携して指導・支援に当たっている。ＳＣ（スクールカウンセラー）からの助言を基にした担任へのコンサルテーションや生徒・保護者への支援、ＳＳＷｒ（スクールソーシャルワーカー）の介入による他機関との連携等の事例について発表する。